

ガストーチ取扱説明書

BT-20SE・BT-20SEW
BT-20SP・BT501C
BT-20Si・BT-20SA

このたびは **Sakae Fuji** ガストーチをお買い求めいただきありがとうございます。
本製品は「火」を扱う製品です。
取扱いを間違えますと、やけど・火災等の危害を及ぼす恐れがあります。取扱説明書の注意事項をよくお読みいただいてからご使用ください。
表面は一般的な注意・警告等、裏面は各機種の使用方法となっております。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本製品は日本国内専用です。
海外への持ち出しはしないでください。

絵表示の意味

- 警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
- 注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・財産などの損害に結びつくもの
- 一般的な注意 一般的な禁止 必ずおこなう

故障・異常の見分け方

現象	火力が弱い	点火しにくい(ガスは出ている)	ガスが出ない	ガスの臭いがする	炎が吹き切れる(消火しない)	消火しない(ガスが止まらない)	処置方法
容器(ボンベ)が冷えている	●						容器(ボンベ)を室温程度の所に1時間程度放置する 空気調節リングを動かして調節する
空気孔を塞いでいる		●					空気調節リングにて空気孔を開ける
ガス噴出量が少ない		●					ガス調節つまみにてガス量を多く調節する
ガス噴出量が多い 圧力が高い		●			●		ガス調節つまみにてガス量を少なく調節する
容器(ボンベ)の 取り付け不良			●	●			容器(ボンベ)を正しく取り付ける
燃料が少ない	●	●					新しい容器(ボンベ)に交換する
火口内部に虫・ ゴミが入っている	●	●		●			綿棒などで火口内部を掃除する
点火装置の故障		●					点検・修理を依頼する
ノズルの詰まり	●	●	●		●		点検・修理を依頼する
ガス調節部の故障				●		●	点検・修理を依頼する
消耗品(ゴム製)の劣化				●			点検・修理を依頼する

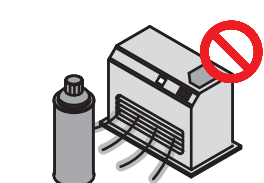
- 点検時やその他いかなる場合でも、分解・改造をおこなわないでください。ガス漏れなど起こし、事故につながり大変危険です。
- バーナー火口先端部が赤熱するのは故障ではありません。

使用容器(ボンベ)取扱上の注意

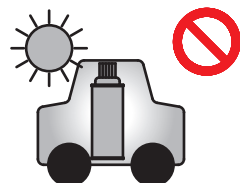
- 容器(ボンベ)は、**Sakae Fuji** の表記がある専用容器(ボンベ)R200・HP200を必ずご使用ください。それ以外の容器(ボンベ)を装着した場合、ガス漏れやガスが出ない等の不具合が発生します。
- 容器(ボンベ)に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。

警告

- 容器(ボンベ)には高圧の可燃性液体が特殊吸収体に染込ませて入っています。従って、振っても音がしません。
- 容器(ボンベ)が高温になりますと、容器(ボンベ)内の圧力が異常に高くなり爆発の原因となりますので下記の取扱いを必ず守ってください。
 - ・容器(ボンベ)をストーブ(ファンヒーター)などの熱気にあたる場所、熱い砂の上や電磁調理器の上など熱が伝わる場所に放置しない
 - ・車内、火気や直射日光の当たる場所で保管しない
 - ・容器(ボンベ)を火中に投げない
 - ・容器(ボンベ)はバーナーから取り外し、キャップをして風通しがよく湿気の少ない40℃以下の涼しい場所に正立の状態にて保管する
- ガス漏れの原因となりますので下記の取扱いを必ず守ってください。
 - ・容器(ボンベ)に強い衝撃を与えない
 - ・著しく変形した容器(ボンベ)は使用しない



※ 熱が伝わる場所への
放置禁止



※ 車内放置禁止



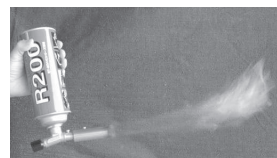
※ 火中投下禁止



※ 落下・衝撃に注意

- 容器(ボンベ)はスチール缶を使用しています。サビの原因となる水分(湿気)等はよく拭き取ってください。時々点検し、サビが発生している場合はガス漏れが無いことを確認し、出来るだけ早めに使用してください。

- 逆さや横倒しになったまま放置されていた容器(ボンベ)を使用しますと、生ガス燃焼となる可能性があります。やけどや火災の原因となります。2~3日ほど正立の状態にて放置した後で使用してください。



生ガス燃焼

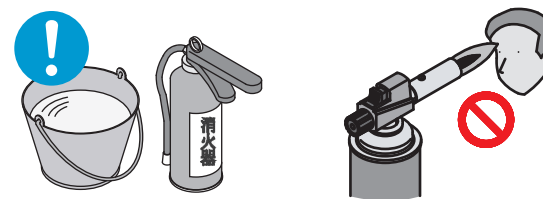
- 使用済み容器(ボンベ)への再充填はしないでください。ガス漏れ・爆発等の危険性が高く安全を確保することができません。
- 容器(ボンベ)は完全に使い切ってから各自自治体の処理方法に従って処分してください。

ガストーチ取扱上の注意 (各機種共通)

- 警告** **Oリング等の消耗品(ゴム製)は経年により劣化します。(Oリングは製品内部にも使用しています)劣化するとガス漏れの恐れがあります。ご使用前に必ずガスの漏れを確認し、漏れている場合は危険ですので使用しないでください。(修理対応しております)**

警告

- やけどや火災の原因となりますので下記の取扱いを必ず守ってください。
 - ・点火時及び使用中にバーナー火口をのぞき込んだり人に向けてたりしない
 - ・使用中及び使用後はバーナーが熱いので手などで触れたりしない
 - ・使用の際は消火器や水を入れたバケツなどを用意し使用中及び使用後は火の元に十分注意する
 - ・火がついている場所から離れない
 - ・火をつけたまま持ち運んだり投げたりしない
- 容器(ボンベ)は正しく装着してください。正しく装着されていない場合、ガス漏れの原因となります。
- ガス漏れに気付いたら点火しない(点火ボタンを押さない)でください。漏れたガスに引火してやけどや火災の原因となります。(ガスが漏れるとタマネギが腐ったような臭いがします。)
- 室内での使用は一酸化炭素中毒や酸欠の原因となりますので換気に十分注意してください。



注意

- 風の強い時や、可燃物(紙や油等の燃えやすいもの)や引火物(ガス、灯油、ガソリン、塗料等)の近くで使用しないでください。(火災予防の為)
- 「ガストーチ」は本来炎で対象物を加熱するものです。燃焼熱がバーナー・容器(ボンベ)に伝わり、バーナー等を過熱させるような使用はしないでください。特に容器(ボンベ)が高温になりますと、容器(ボンベ)内の圧力が高くなり爆発する恐れがあります。
- ガス漏れや自動点火装置の焼損を引き起こす危険性がありますので、バーナー・容器(ボンベ)が過熱されないよう、下記の取扱いを必ず守ってください。
 - ・輻射熱を受けるような至近距離での連続燃焼はしない
 - ・弱火での長時間燃焼はしない
- 自動点火装置の故障の原因となりますので下記の取扱いを必ず守ってください。
 - ・本製品を水などで濡らさない
 - ・湿度の高い場所で保管しない
- バーナーは落下させないでください。落下させると点火プラグ(セラミック製)の破損や、ガス調節機構の変形により、ガス漏れの原因や点火不良となり使用出来なくなります。また、容器(ボンベ)を装着したまま落下させた場合、容器(ボンベ)のネジ部が破損することがあります。(ガス漏れ危険)

ガストーチ取扱上の注意 (各機種共通)

- 絶対に分解・改造をしないでください。故障や事故の原因となります。
- 火口部・空気孔にごみや異物等を付着させたまま使用しないでください。異常燃焼を起こし故障の原因となり危険です。
- 本製品の内部に砂利や虫(巣を作ります。)などが入らない場所に保管してください。
- お子様の手の届かない場所に保管し、お子様には絶対に使用させないでください。また、お子様の近くでは使用しないでください。

日常の点検・手入れ (各機種共通)

- 製品が十分に冷えてから容器(ボンベ)を外した状態でおこなってください。
 - ① Oリング(パッキン:下図)に傷やゴミが付いていない、または、Oリングがゆるくなく隙間のないことを確認する
 - ・ゴミが付いている場合は、ウェットティッシュなどで軽く拭き取る
 - ・傷が付いている場合、バーナーは修理を依頼し、容器(ボンベ)は使用しない(ガス漏れ危険)
 - ② バーナー火口内部にゴミや汚れの付着物や、虫や虫の巣がないか確認する
 - ・付着物がある場合、ウェットティッシュなどで拭き取る
 - ・虫、もしくは虫の巣がある場合、綿棒などで火口内部を掃除する
 - ③ ガス調節つまみが回るか確認する
 - ・ガス調節つまみが回らない場合は修理を依頼する
 - ④ 製品に破損がないか確認する
 - ・破損を見つけたら修理を依頼する
 - ⑤ 点火ボタンを押した時、バーナー火口内部で点火プラグ(裏面の「各部の名称」参照)から火花が飛ぶか確認する
 - ・火花が飛ばない場合は修理を依頼する(火花の確認は、バーナー火口の口元を手で覆うなどして暗くすると見やすいです。)

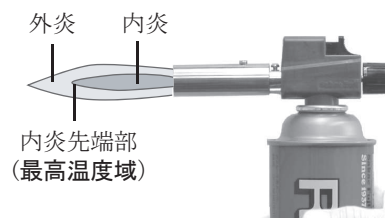


注意

故障や破損など不具合だと思われる製品は使用しないでください。思わぬ事故につながります。不具合の際は、販売店・代理店または弊社へご連絡ください。修理対応させていただきます。(お客様の安全の為、部品の販売はいたしておりません。)

火炎の特徴 (各機種共通)

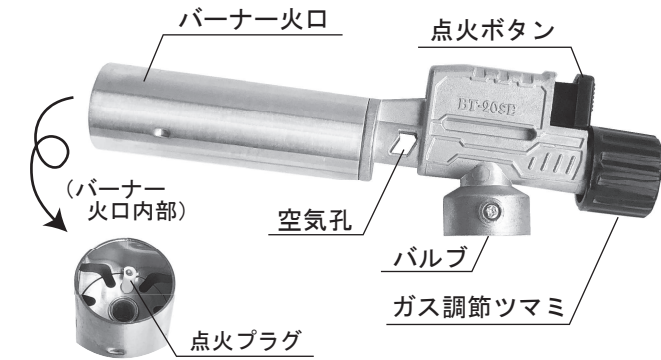
- 内炎の先端部が一番温度の高い場所になります。状況に合わせてご使用ください。



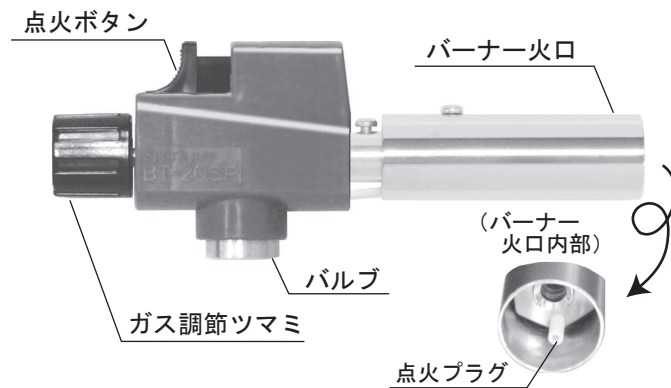
< BT-20SE/SEW・BT-20SP > < BT501C・BT-20Si >

各部の名称

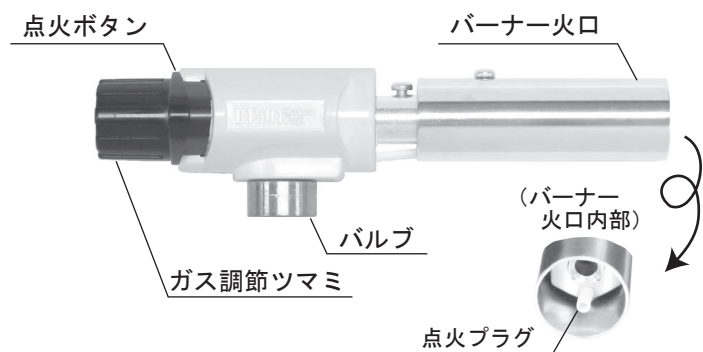
BT-20SE・BT-20SEW



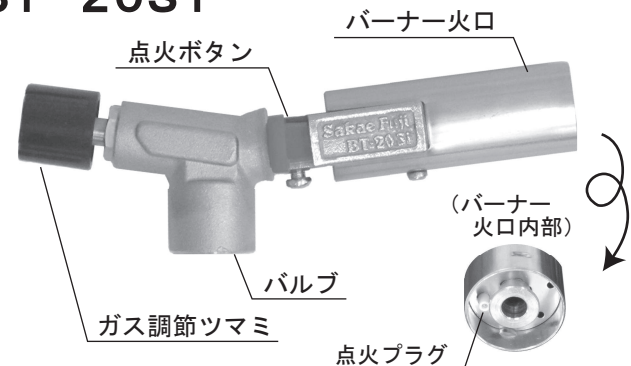
BT-20SP



BT501C



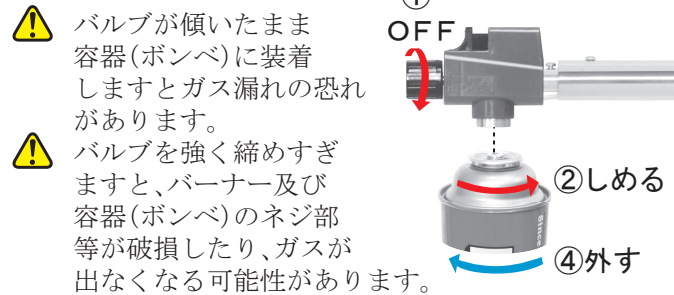
BT-20Si



< BT-20SE/SEW・BT-20SP > < BT501C・BT-20Si >

容器(ボンベ)の取り付け方

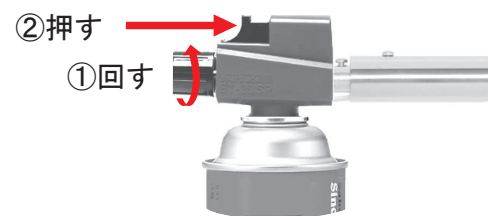
- ① ガス調節つまみの「OFF」を確認します。
- ② 容器(ボンベ)を正立させ、バルブと容器(ボンベ)のネジを合わせ矢印の方向に止まるまで回し締めます。(容器(ボンベ)を締め込む途中で一瞬ガスが出る音がありますが異常ではありません。続けて締め込んでください。取り付け後にガス漏れがなければ正常です。)



- ③ ガス漏れがないことを確認します。
- ⊘ ガスが漏れるとタマネギが腐ったような臭いがします。ガス漏れに気付いたら、絶対に点火しないでください。漏れたガスに引火して、やけどや火災の原因となります。
- ④ 容器(ボンベ)の取り外しは「②しめる」を反対に回してください。
- ! ご使用後は、製品が冷えてからバーナーと容器(ボンベ)を必ず取り外して容器(ボンベ)にキャップをして保管してください。(ガス漏れ防止の為)

点 火

- ! 点火する前に周辺に引火物、可燃物がないことを確認してください。
- ① ガス調節つまみと反時計回りに回し、ガスを少し出します。
- ② ガスが出ているのを確認し、点火ボタンを押して点火します。点火しない場合は、点火ボタンを繰り返し押ししてください。
- ③ 火力は、ガス調節つまみで調節してください。



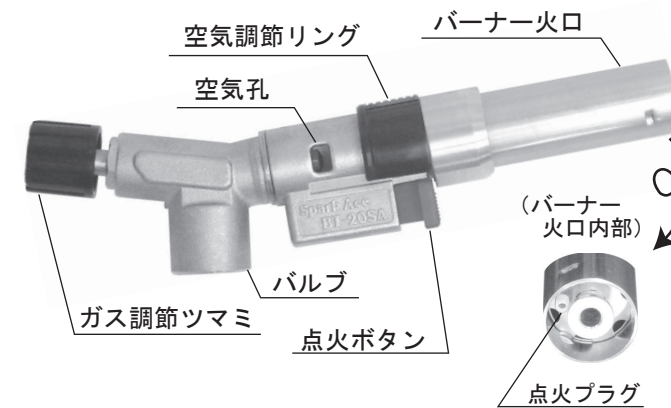
消 火

- ① ガス調節つまみを時計回り(「OFF」の方向)に完全に止まるまで回して消火します。完全に消火したことを確認してください。
- ! ご使用後は、製品が冷えてからバーナーと容器(ボンベ)を必ず取り外して容器(ボンベ)にキャップをしてください。(ガス漏れ防止の為)
- ! 保管の際は、高温多湿を避け風雨の当たらない場所に保管してください。

< BT-20SA >

各部の名称

BT-20SA



容器(ボンベ)の取り付け方・点火・消火

- ① 点火する前に、空気調節リングをバーナー火口側に動かし、空気孔が開いていることを確認してください。(出荷時、空気孔は開いている状態です)
- ② 容器(ボンベ)の取り付け方・点火・消火の方法は、6ページの「容器(ボンベ)の取り付け方」「点火」「消火」の手順に従い操作をおこなってください。

BT-20SAをお使いの場合、温度の低い赤火も使用できます。(作業の用途に合わせてご使用ください)
《方法》空気調節リングをガス調節つまみ側に動かす
下記の「点火のコツ」の図を参照してください。

点火のコツ (各機種共通)

気温の変化によって、容器(ボンベ)内のガスの圧力が変化する為、点火条件が異なります。下記を参考に、調整の上ご使用ください。

- 気温が高い時 (ボンベ内の圧力が上昇)
● ガス調節つまみの開きを小さくしてガスの量を絞る
- 気温が低い時 (ボンベ内の圧力が低下)
● ガス調節つまみの開きを大きくしてガスの量を増やす
- (SA) 空気調節リングを動かし空気孔の開きを小さくする

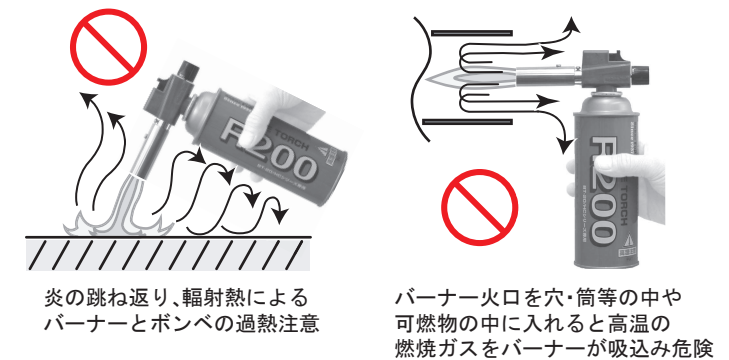


「点火のコツ」でも点火しない場合は「故障・異常の見分け方」に従って対応してください。

< 各機種共通 >

バーナー・容器(ボンベ)過熱防止の注意

下記のような連続使用は、バーナー・容器(ボンベ)を過熱してガス圧が異常に高くなり破損や、点火装置等の焼損の原因となりますので絶対におやめください。また、弱火での連続使用はバーナーを過熱して危険です。



保管の注意

バーナーと容器(ボンベ)を装着したまま工具箱等の中に保管しないでください。ガス漏れを起こし火災の原因となったり、使用時に生ガス燃焼となり危険です。容器(ボンベ)はバーナーから取り外し正立させて保管してください。



お買い上げいただきました製品は万全を期していますが、点検で不備な点、及び製品について不具合や不明点があった場合、また修理をご依頼の際はご購入求めになった販売店・代理店または弊社へご連絡ください。

生産物賠償責任保険(PL保険)付
MADE IN JAPAN

Since 1937
SAKAEFUJI 栄製機株式会社

〒441-0105 愛知県豊川市伊奈町佐脇原68
TEL (0533) 73-1190(代)・FAX (0533) 73-1196
http://www.sakae-seiki.co.jp/
E-mail: info@sakae-seiki.co.jp